



# 2019年3月期 決算説明会

2019年5月21日  
黒崎播磨株式会社

(証券コード:5352)

**100**  
100年の技術を未来へ

## 1. 2019年3月期決算の概要

---

## 2. 2020年中期経営計画レビュー

---

## 3. トピックス

---

## <参考> 当社の概要

---

【本資料中の数値表示について】

特段の注記がない場合、金額表示は表示未満単位を切り捨て、百分率は小数点第2位を四捨五入し小数点第1位までを表示しております。



# **1. 2019年3月期決算の概要**

## 事業環境

- ◆ 国内粗鋼生産 : 2018年度は前年度比1.9%減の1億289万トン。
- ◆ 世界粗鋼生産 : 2018年は前年比6.9%増の17億8,885万トンと過去最高。  
インドは順調に拡大し、日本を抜き世界第2位の鉄鋼生産国に。

## トピックス

- ◆ 耐火物 : 原料高騰影響分の販売価格への反映、作業用耐火物の数量増および海外子会社の売上拡大により売上高が増加。  
建設用案件の減少や電力・燃料・物流コストの増加等の影響はあったものの、海外子会社の大幅な業績向上により増益。
- ◆ ファーネス : 大型工事の継続受注により売上高・利益ともに増加。
- ◆ セラミックス : 半導体製造装置向け、セラミックコンデンサ向け製品の需要が堅調。  
売上高・利益ともに高水準を維持。

## 決算概況

- ◆ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、いずれも**過去最高**を達成。  
配当性向を30%程度に引き上げ、年間配当金も**過去最高**。

# 2019年3月期決算の概要(連結)

単位:億円

	18年3月期	19年3月期	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	1,239.7	1,423.4	+ 183.7	+ 14.8%
営業利益	84.9	105.4	+ 20.4	+ 24.1%
経常利益	89.9	112.8	+ 22.9	+ 25.6%
当期純利益 <sup>*1</sup>	56.5	78.6	+ 22.1	+ 39.1%
R O S <sup>*2</sup>	7.3%	7.9%	+ 0.6pt	—
R O E	11.3%	14.8%	+ 3.5pt	—
年間配当 <sup>*3</sup>	170円/株	280円/株	+ 110円/株	—

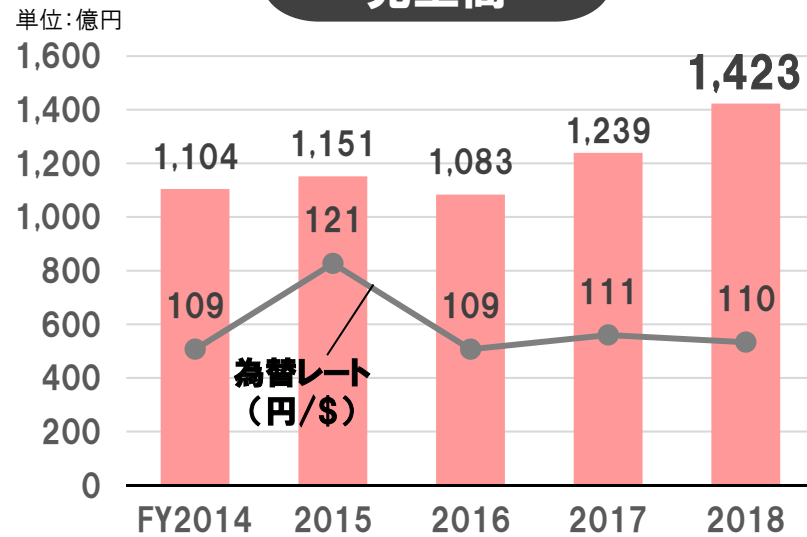
\*1:親会社株主に帰属する当期純利益

\*2:売上高経常利益率

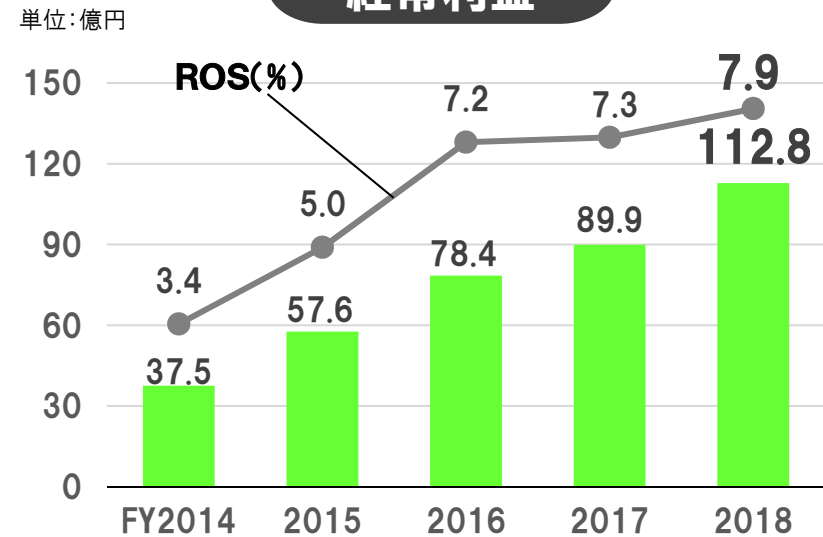
\*3:2017年10月1日に10株を1株とする株式併合を実施したため、2017年度上期までの配当額は10倍に換算して表示しています。

# 主要指標推移(連結)

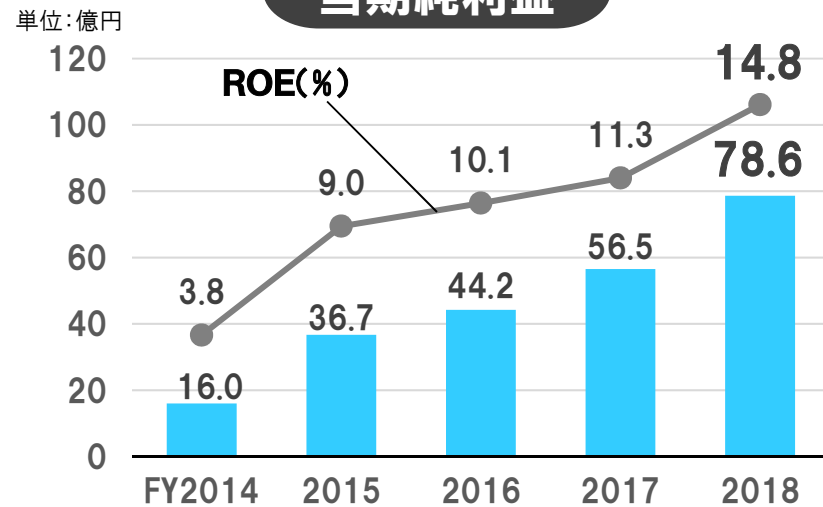
## 売上高



## 経常利益



## 当期純利益



## 年間配当\*



\*: 2017年10月1日に10株を1株とする株式併合を実施したため、2017年度上期までの配当額は10倍に換算して表示しています。

# 財務状況(連結)

## <貸借対照表の状況>

単位:億円

	18年3月末	19年3月末	対前年度末比	
資産	1,310.3	1,354.2	+ 43.9	+ 3.4%
流動資産	844.2	890.9	+ 46.6	+ 5.5%
固定資産	323.3	359.2	+ 35.9	+ 11.1%
投資その他資産	142.7	104.0	▲ 38.7	▲ 27.1%
負債	732.7	791.8	+ 59.1	+ 8.1%
純資産	577.5	562.3	▲ 15.1	▲ 2.6%

有利子負債残高	352.3	359.4	+ 7.1	+ 2.0%
D / E レシオ	0.66	0.68	+ 0.2	-
自己資本比率	40.4%	39.2%	▲ 1.2pt	-

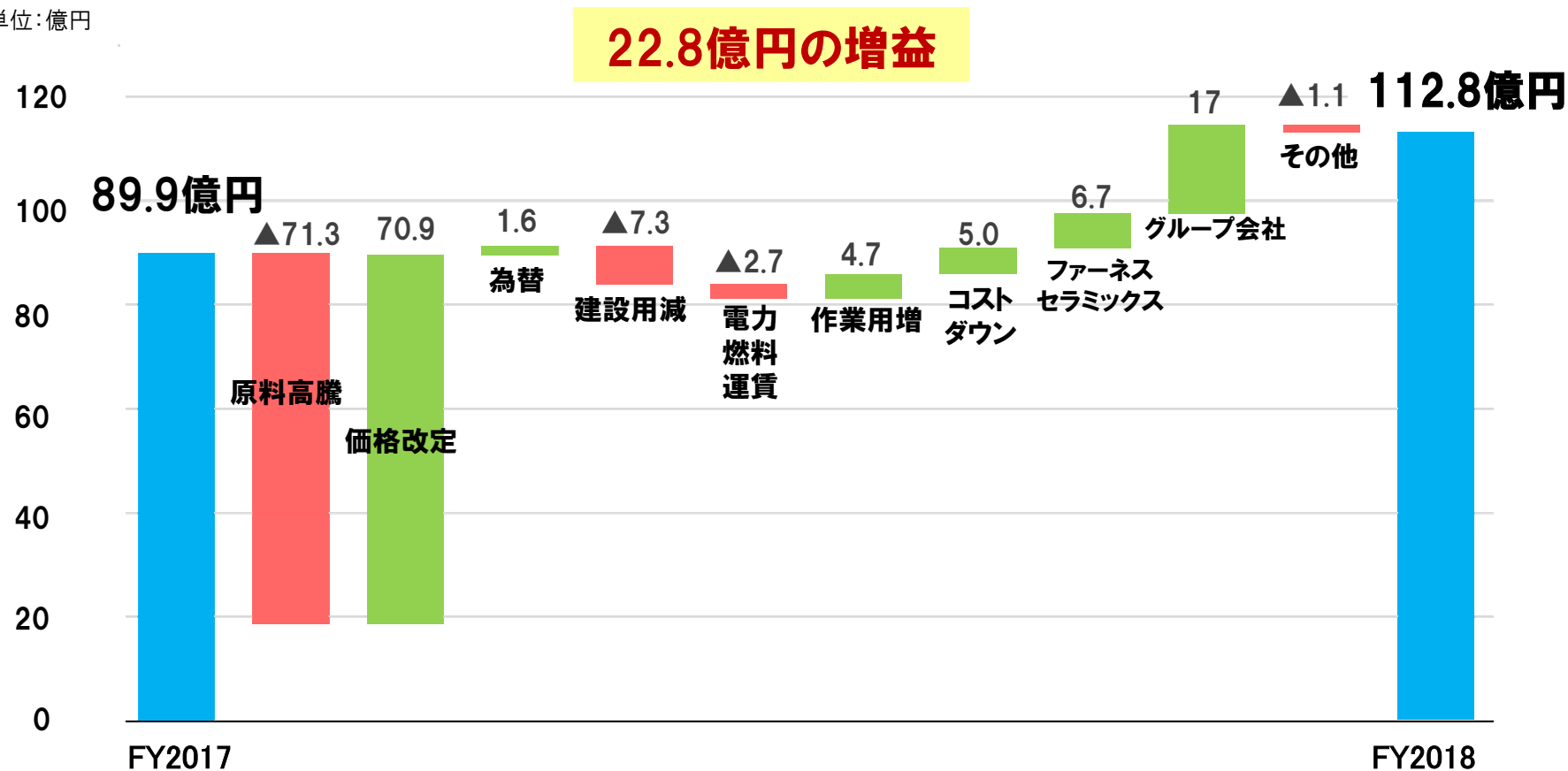
## <キャッシュフローの状況>

	18年3月期	19年3月期	当期の主な内容
営業キャッシュフロー	26.8	102.7	税前当期純利益 +123.1、減価償却費 +27.3 運転資金の増加 ▲14.1、法人税等の支払い ▲26.8
投資キャッシュフロー	▲ 23.6	▲ 22.6	有価証券の売却 +26.2 固定資産の取得 ▲43.3
フリーキャッシュフロー	3.1	80.0	
財務キャッシュフロー	7.4	▲ 67.2	子会社株式追加取得による支出 ▲48.5 配当金の支払い ▲18.4

# 経常利益増加要因分析 [FY17 → FY18] (連結)

国内耐火物事業は原料価格高騰や電力・燃料・運賃等の値上がりを販売価格への反映とコストダウンでカバー。全体では海外グループ会社の大幅な利益拡大に加え、ファーンネス事業の業績向上および堅調なセラミックス事業により増益となった。

単位: 億円



# セグメント別業績(連結)

単位: 億円

		18年3月期	19年3月期	対前年比	
耐火物	売上高	990.3	1,165.8	+ 175.5	+ 17.7%
	セグメント利益	52.3	67.7	+ 15.4	+ 29.4%
ファーンレス	売上高	158.1	169.0	+ 10.8	+ 6.8%
	セグメント利益	12.8	18.6	+ 5.8	+ 45.3%
セラミックス	売上高	74.3	72.7	▲ 1.5	▲ 2.1%
	セグメント利益	11.4	11.7	+ 0.2	+ 2.2%
不動産他	売上高	16.9	15.8	▲ 1.0	▲ 6.3%
	セグメント利益	8.2	7.2	▲ 0.9	▲ 12.1%
合計	売上高	1,239.7	1,423.4	+ 183.7	+ 14.8%
	セグメント利益	84.9	105.4	+ 20.4	+ 24.1%

※各セグメントの売上高は外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

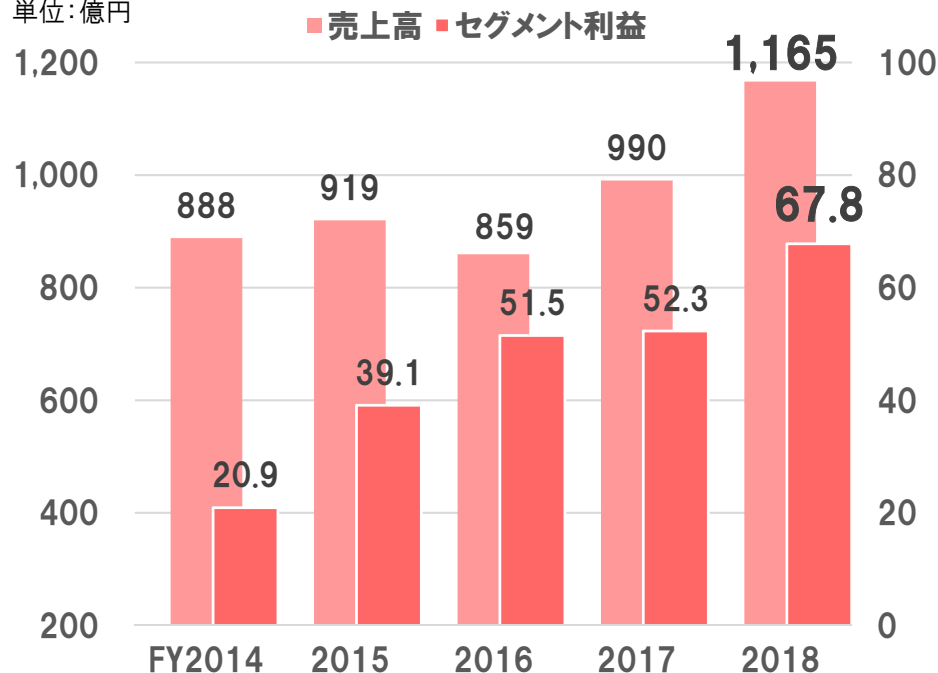
## 業績

単位: 億円

	18年3月期	19年3月期	対前年比	
売上高	990.3	<b>1,165.8</b>	+175.5	+17.7%
セグメント利益	52.3	<b>67.7</b>	+15.4	+29.4%

## 推移

単位: 億円



## 業績ハイライト

- 原料価格高騰分の販売価格への反映や作業用耐火物の受注増および海外子会社の拡販等により増収増益。
- 海外事業については引き続きインドや欧州が好調。旺盛な需要に応えるべく能力増強投資を積極的に推進。
- 一昨年来急騰していた原料価格は下期に入り一部沈静化。今後も原料価格の変動は販売価格へ反映。

## 業績

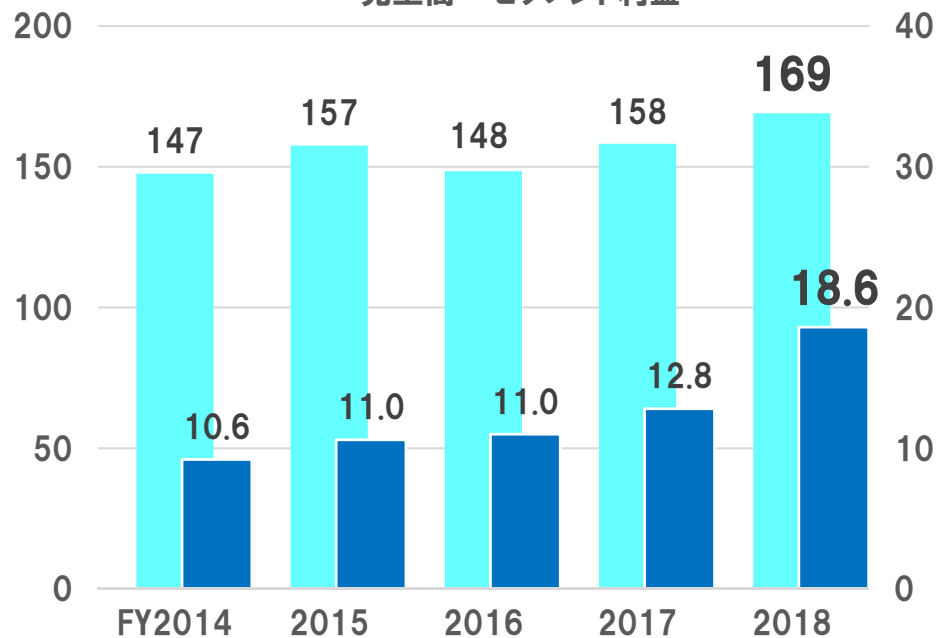
単位:億円

	18年3月期	19年3月期	対前年比	
売上高	158.1	<b>169.0</b>	+10.8	+6.8%
セグメント利益	12.8	<b>18.6</b>	+5.8	+45.3%

## 推移

単位:億円

■売上高 ■セグメント利益



## 業績ハイライト

- コークス炉・熱風炉等の大型築造工事の受注増により増収増益。
- 加熱炉・焼却炉・特殊熱処理炉等の工事案件も継続受注。
- 旺盛な大型築造工事需要に対応すべく新規工法開発や、人材採用・育成も引き続き推進。
- 2019年度より、君津・名古屋両製鉄所に加え、新たに八幡製鉄所において新規設備の整備作業開始。

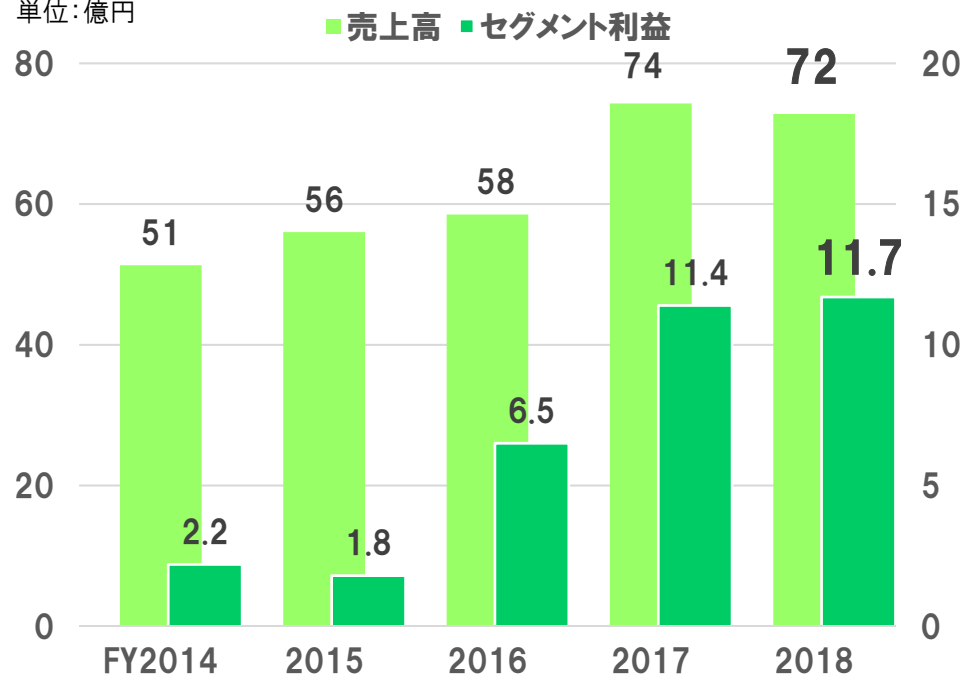
## 業績

単位: 億円

	18年3月期	19年3月期	対前年比	
売上高	74.3	72.7	▲1.5	▲2.1%
セグメント利益	11.4	11.7	+0.2	+2.2%

## 推移

単位: 億円

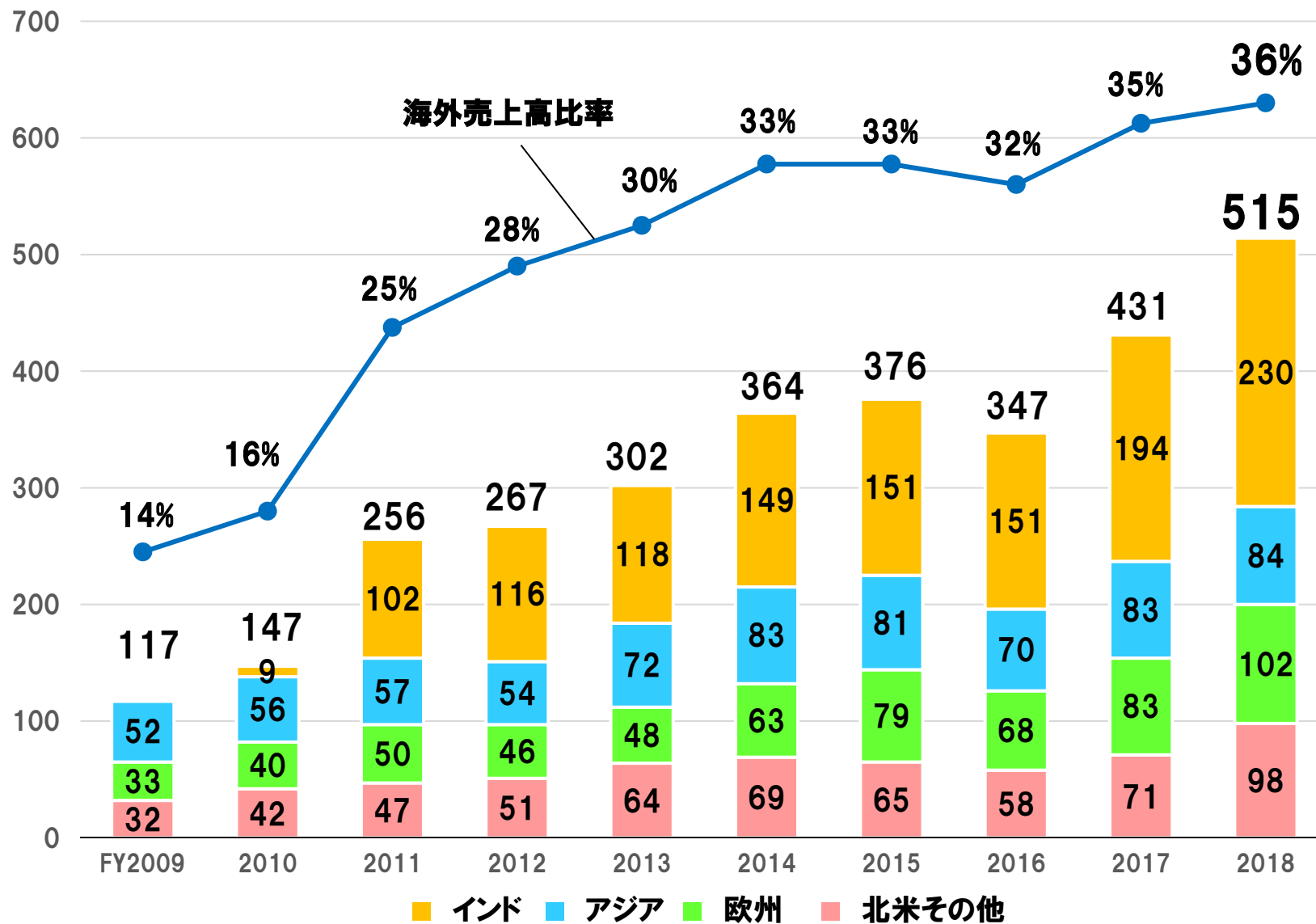


## 業績ハイライト

- 半導体製造装置向けファインセラミックスの売上高が継続して増加。
- セラミックコンデンサ向け焼成用部材の売上高が増加。
- ファインセラミックス、電子部品焼成用部材ともに今後も需要増加が予測され、積極的に設備投資を推進。

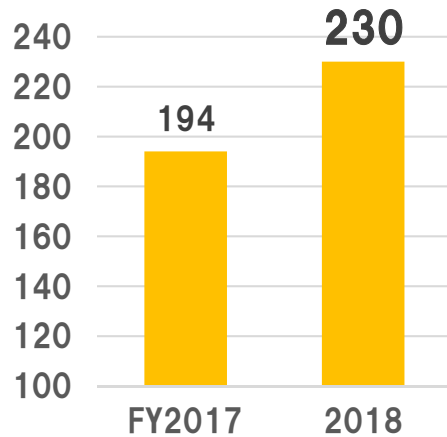
# 海外売上高推移(日本円ベース)

単位: 億円



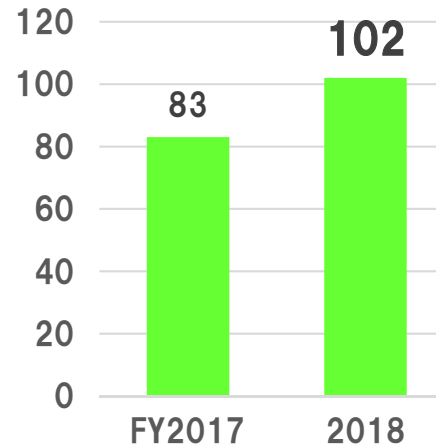
# 地域別連結売上高(日本円ベース、単位:億円)

## インド



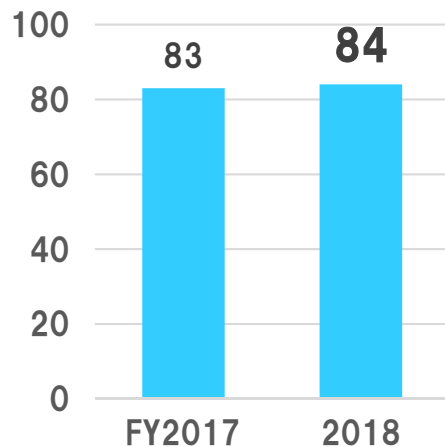
- 粗鋼生産量は順調に伸びており、耐火物需要拡大が継続。
- 原料高騰の販売価格転嫁が順調に進展。
- 高炉用充填材の拡販。
- インドTRLは連続最高益。

## 欧州



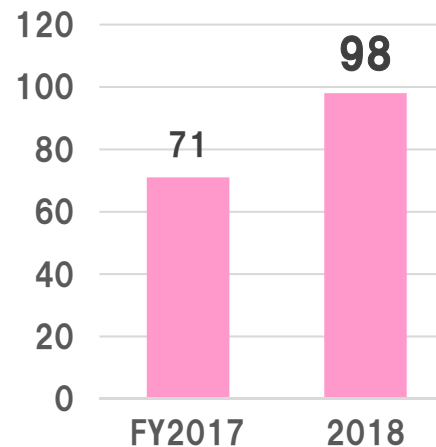
- 粗鋼生産量は横這いだが、グループの転炉用れんがの販売量は増加。
- スペインAMRIは連続最高益。

## アジア



- 台湾での転炉用れんがの値上げおよびステンレス炉向け吹付材の受注増加。

## 北米その他



- 米国粗鋼生産量の増加に伴う耐火物需要の増加。
- SN装置とSN耐火物のセット販売による売上高の増加。
- アフリカ向けセメント用耐火物の売上高の増加

※ SNとは、溶鋼の流量制御に使用される装置や耐火物を指します(スライディングノズルの略称)。

インド・スペインを中心とした海外での拡販を継続し、増収を目指す。  
米中貿易摩擦の影響や為替動向等、経営環境の不透明さはあるものの、売上高の増加により連続増益を見込む。

単位: 億円

	19年3月期	20年3月期	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	1423.4	1,480.0	+ 56.5	+ 4.0%
経常利益	112.8	120.0	+ 7.1	+ 6.3%
R O S	7.9%	8.1%	+ 0.2pt	—



## **2. 2020年中期経営計画レビュー**

# 2020年中期経営計画 業績レビュー

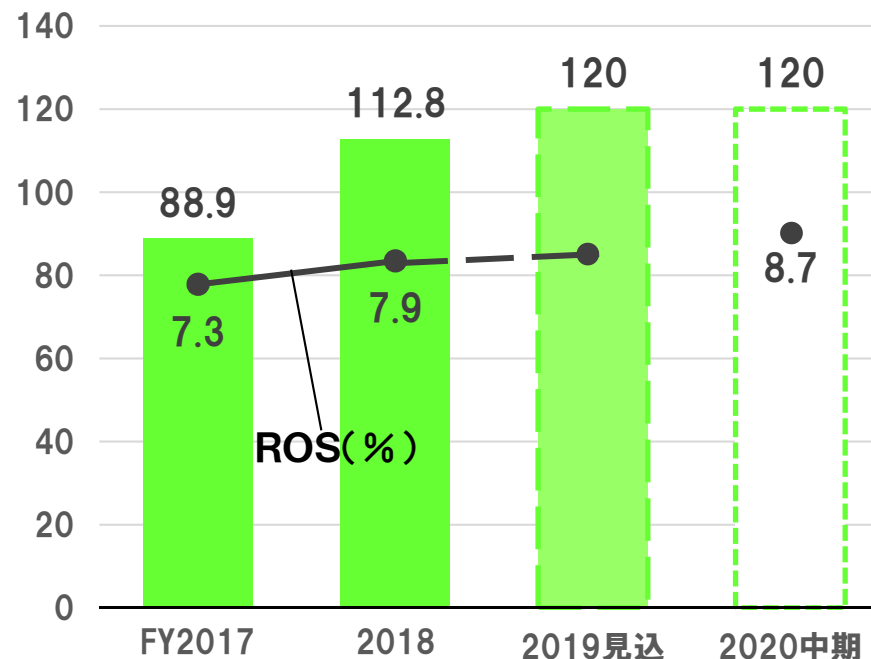
単位: 億円  
1,600

## 売上高推移



単位: 億円

## 経常利益推移



**売上高:**耐火物原料価格高騰影響の販売価格への反映を進めたことや、インド・欧州を中心に海外での拡販に努めたことにより、増収を達成。

**利益:**海外子会社の売上拡大に加えて、ファーンレス事業における大型工事案件の受注増加、堅調を維持するセラミックス事業における収益改善等により増益を達成。

**今 期:**2019年度も増収増益を狙い、中期計画の前倒し達成を目指す。



# トピックス

## ◆ TRLへの出資比率増加(51%→77.6%)

- TRL社の業績が順調に拡大しており、今後も成長著しいインド市場を中心とした拡販により更なる業績向上が見込まれる
- 業績拡大を背景に 持分利益の一層の拡大を図るべく、2018年12月に株式を追加取得



TRL本社



(上・右)  
新設の成形機

## ◆ 能力増強投資を加速

- 粗鋼生産量の成長が著しいインドにおいて、旺盛な耐火物需要に応えるべく、各種能力増強投資を加速。
- 生産能力増強によりインド事業の更なる拡大を見込む。

## ◆ 日本製鉄とのシナジーの深化を目指す

- 2019年3月末に当社が日本製鉄(株)の連結子会社化
- 日本製鉄が進めるインド事業・エッサールスチールへの耐火物供給を拡大



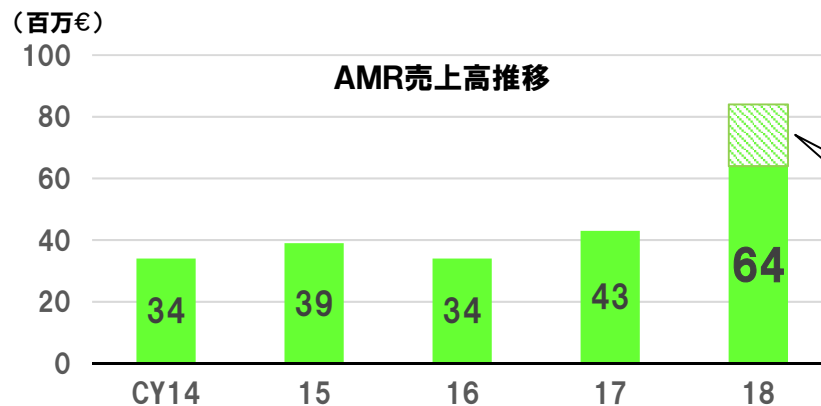
## ◆スペインAMRによるRefractaria社の買収 Refractaria, S. A.

所在地 : スペイン アストゥリアス市  
 事業内容 : 耐火物の製造・販売  
 売上規模 : 約16百万€(2017年)

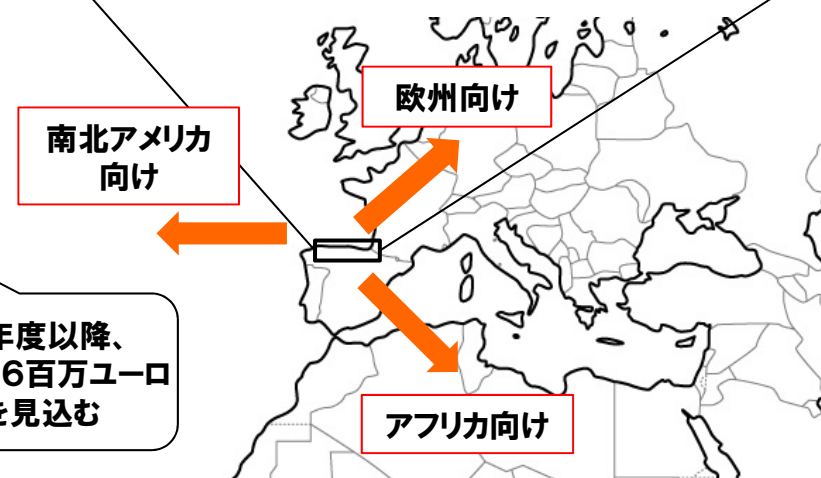
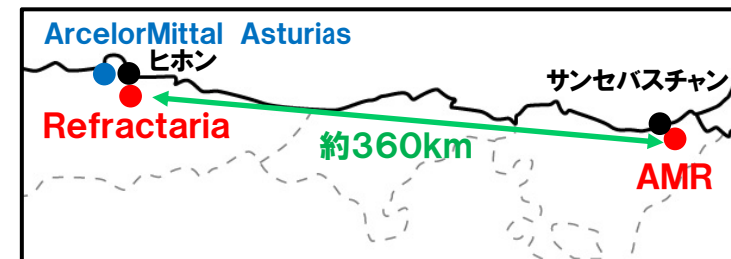


## ◆期待されるシナジー

- AMRとの製品ラインナップの相互補完による、鉄鋼、セメント業界向けの更なる拡販。
- スペイン大手顧客への営業拠点として活用（ArcelorMittal Asturias近郊に所在）。
- 工場敷地に余裕があり、今後のスペインでの生産能力増強の検討が可能。



## ◆好立地を活かし、欧州・南北アメリカ・アフリカへの拡販を更に加速



次年度以降、  
+約16百万ユーロ  
を見込む



## **【参考】当社の概要**

<b>商号</b>	<b>黒崎播磨株式会社</b>
<b>資本金</b>	<b>5,537百万円</b>
<b>設立</b>	<b>1918年10月14日</b>
<b>創業</b>	<b>1919年 6月 1日</b>
<b>主要事業</b>	<b>耐火物製造・販売</b>
<b>従業員</b>	<b>連結4,735名、単体1,379名</b>
<b>連結対象会社*</b>	<b>16社（国内5社、海外11社）</b>

\* 持分法適用会社を含む。

## 北九州の地で創業。2019年に100周年を迎える

1919年	黒崎窯業 創業(現・福岡県北九州市八幡西区)
1949年	東京証券取引所に株式を上場
1956年	八幡製鉄(現・日本製鉄)による資本参加
2000年	ハリマセラミックと合併、黒崎播磨に商号変更
2002年	九州耐火煉瓦を子会社化(2014年に合併)
2011年	インド・TATA REFRACTORIES LIMITED (現・TRL KROSAKI REFRACTORIES LIMITED) を子会社化
2019年	日本製鉄の連結子会社となる 6月1日をもって <b>創業100周年</b> を迎える

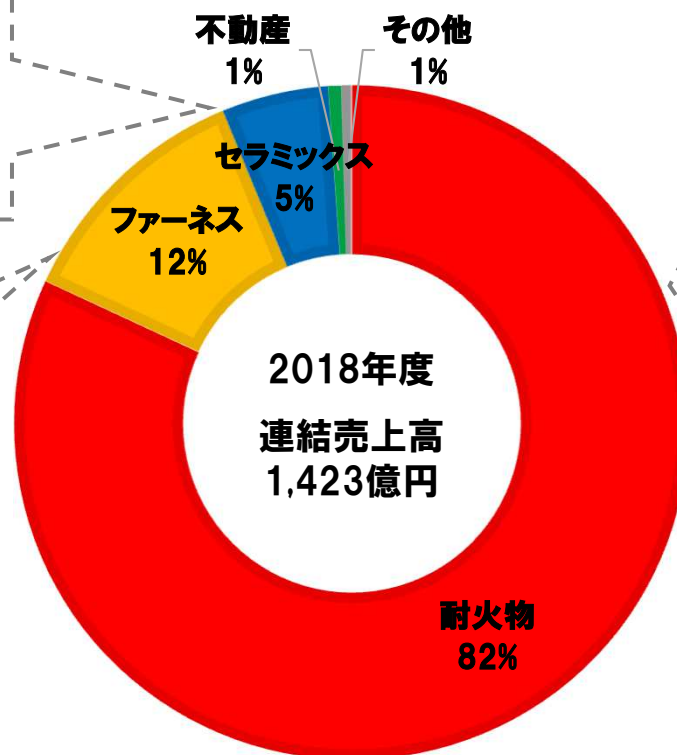
90%以上を耐火物関連事業(耐火物+ファーンレス)が占める



精密測定機用基準器



電子部品焼成用部材



売上百分比

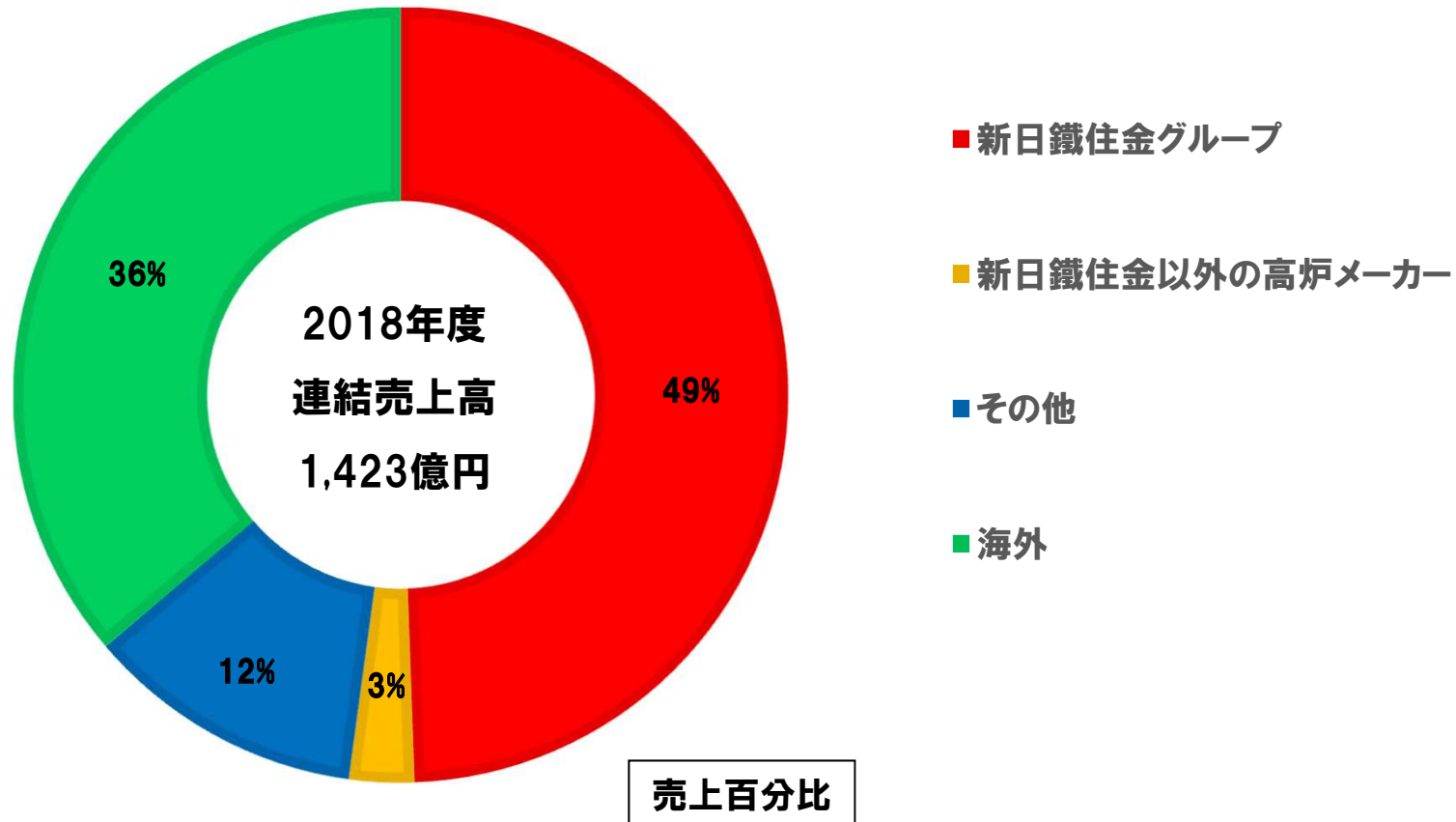


各種耐火物

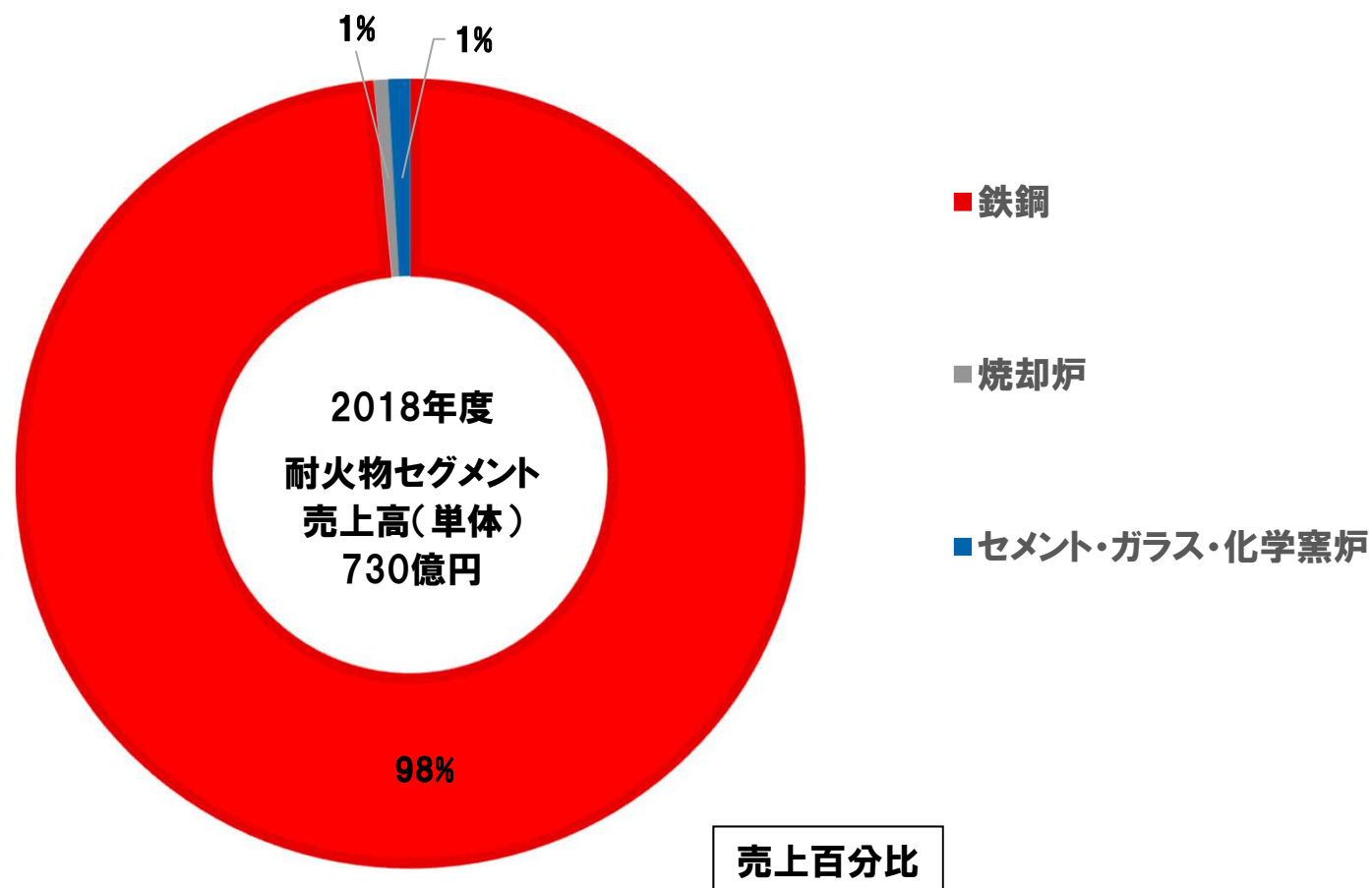


施工例)プッシャー式ビレット連続式圧延加熱炉

## 納入先は国内外の鉄鋼メーカー



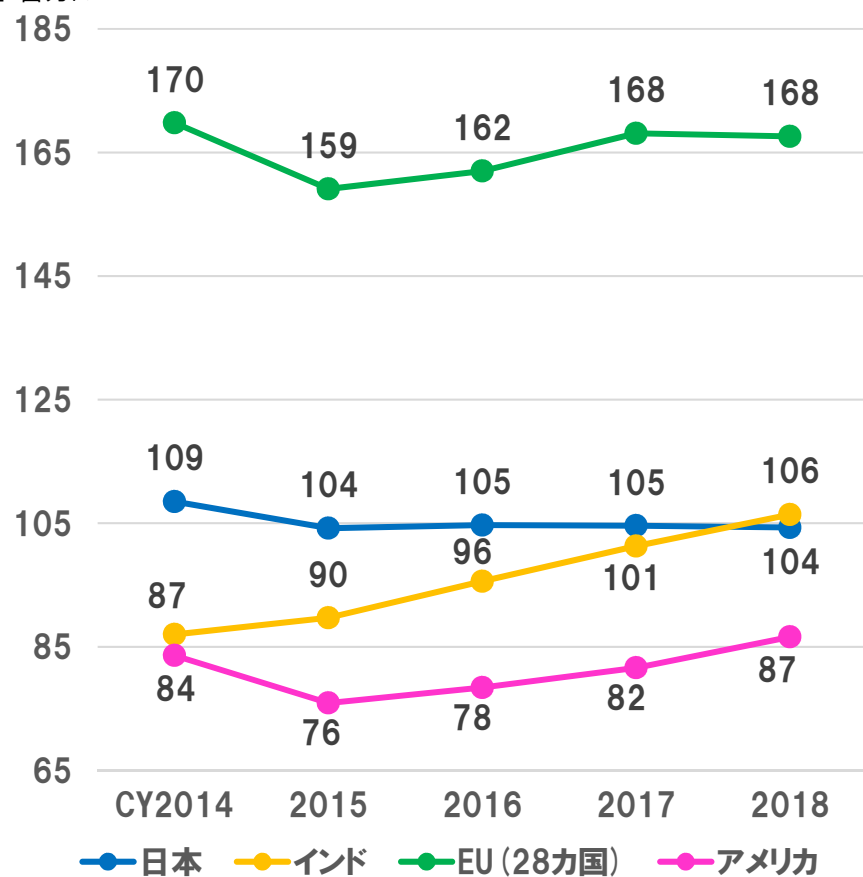
## 耐火物のうち98%を鉄鋼向けに販売



## 国内粗鋼生産は堅調、世界粗鋼生産は過去最高

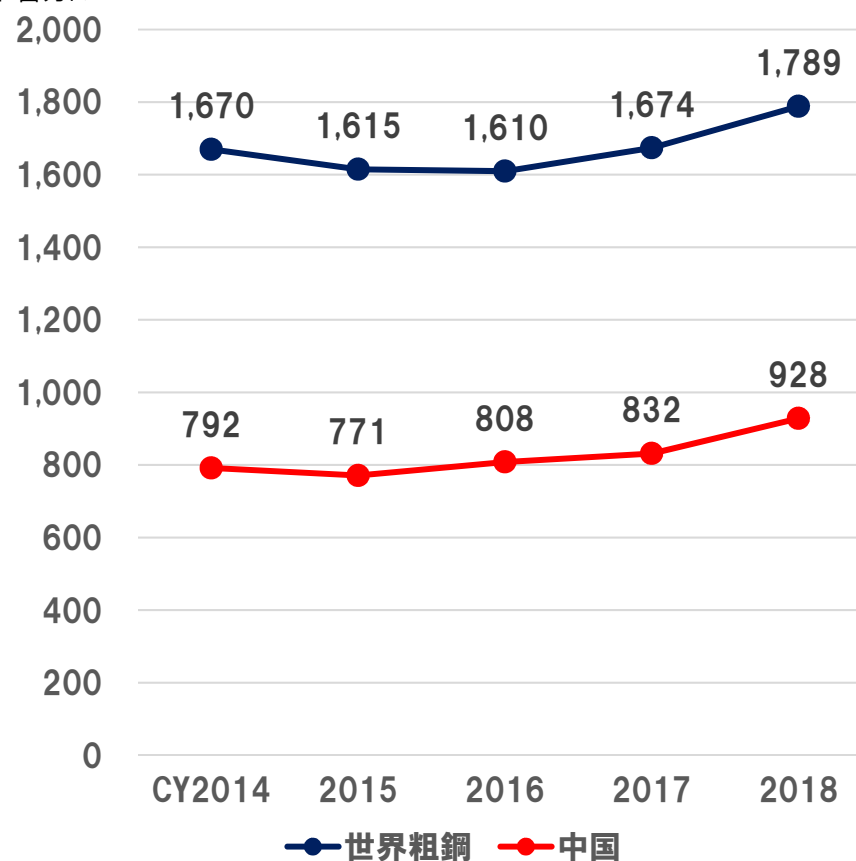
### 日本・インド・EU・アメリカの粗鋼生産

単位:百万トン



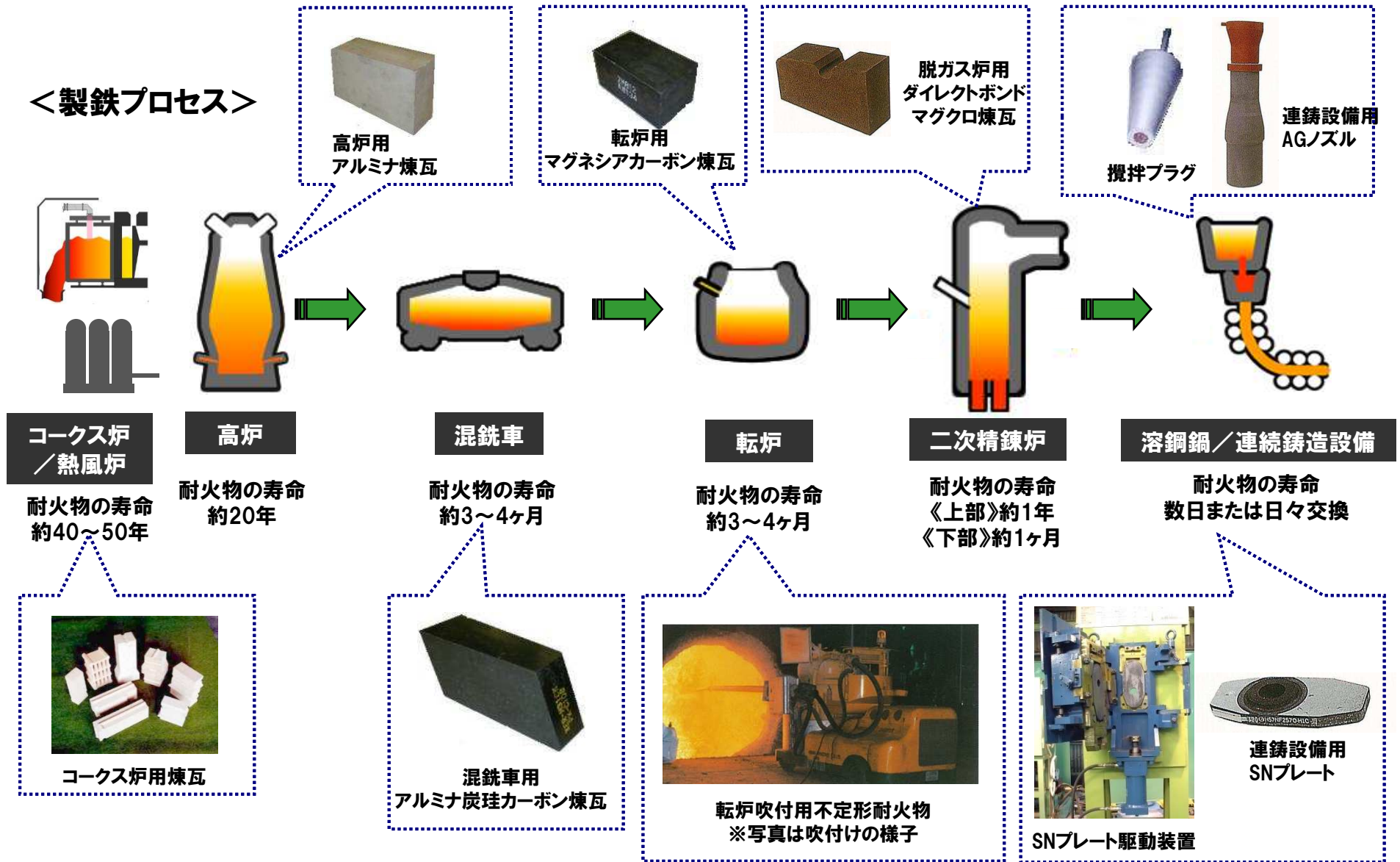
### 世界全体および中国の粗鋼生産

単位:百万トン









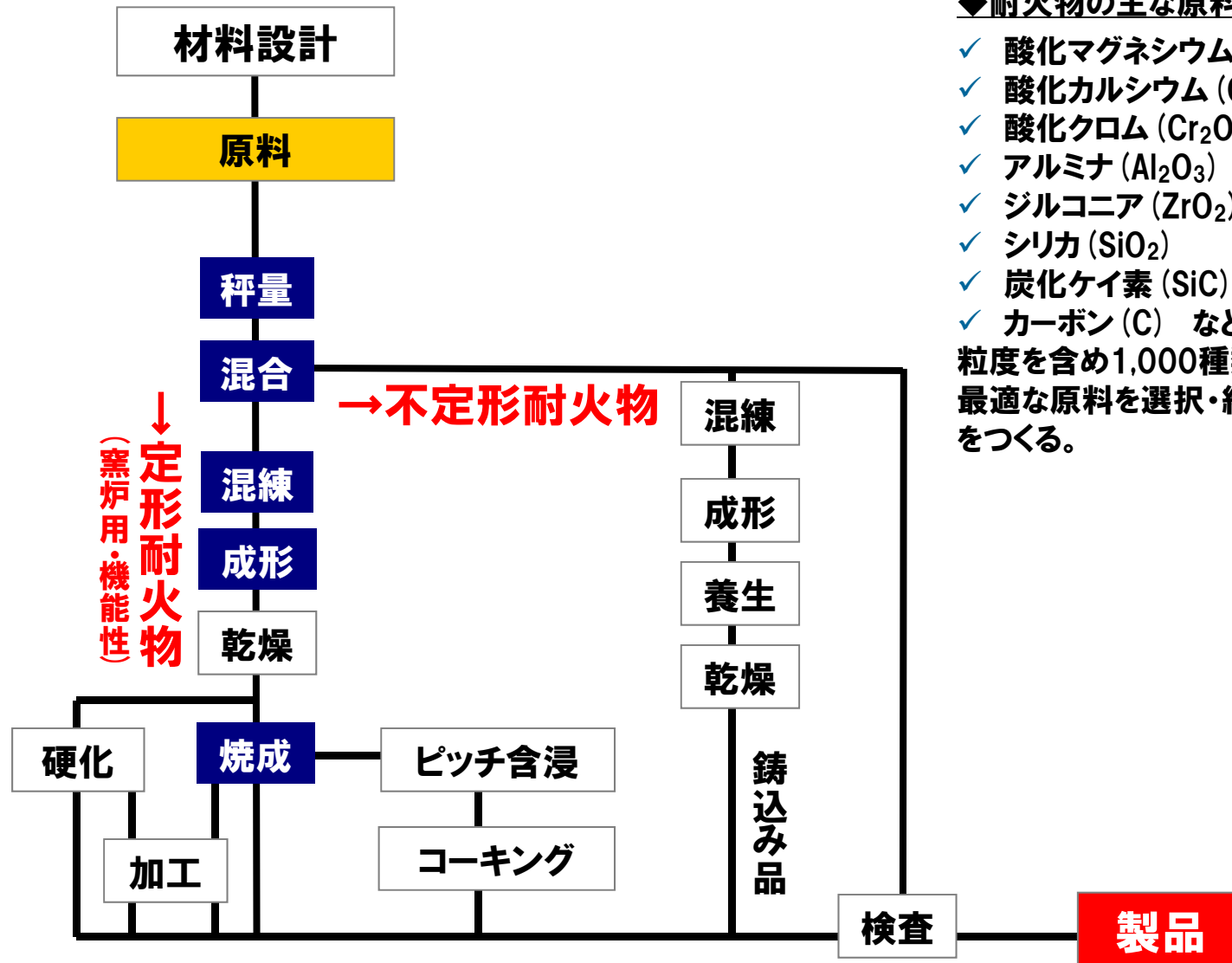
# 耐火物：製鉄に不可欠な基礎資材

## <製鉄プロセス>



# 主な耐火物製品の販売市場／生産拠点

耐火物の分類	<b>窯炉用耐火物</b> 	機能性耐火物			不定形耐火物	
		AGノズル 	連続铸造用 SNノズル・プレート 	攪拌プラグ 	補修材／ 流し込み材 	マッド材 
適用される 主な製鉄設備	高炉、熱風炉、 コークス炉、 混銑車、転炉、 二次精錬炉	連続铸造設備	連続铸造設備	溶鋼鋼	高炉、転炉、 溶鋼鋼	高炉
用途(機能)	設備の内張	溶鋼の整流	溶鋼の流量制御	溶鋼の攪拌	補修、 設備の内張	高炉出銑口の 閉塞
黒崎播磨グループの 主な生産拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・中国</li> <li>・スペイン</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・中国</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・中国</li> <li>・スペイン</li> <li>・アメリカ</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・中国</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・中国</li> <li>・インド</li> </ul>
黒崎播磨グループの 主な市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・アジア</li> <li>・欧州</li> <li>・北米</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・アジア</li> <li>・欧州</li> <li>・北米</li> <li>・豪州</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・アジア</li> <li>・欧州</li> <li>・北米</li> <li>・豪州</li> <li>・インド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・欧州</li> <li>・北米</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・アジア</li> <li>・北米</li> <li>・欧州</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本</li> <li>・中国</li> <li>・北米</li> <li>・欧州</li> <li>・豪州</li> <li>・インド</li> </ul>



## ◆耐火物の主な原料◆

- ✓ 酸化マグネシウム (MgO)
- ✓ 酸化カルシウム (CaO)
- ✓ 酸化クロム (Cr<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)
- ✓ アルミナ (Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)
- ✓ ジルコニア (ZrO<sub>2</sub>)
- ✓ シリカ (SiO<sub>2</sub>)
- ✓ 炭化ケイ素 (SiC)
- ✓ カーボン (C) など

粒度を含め1,000種類以上の原料から、最適な原料を選択・組み合わせてレシピをつくる。

## 省エネルギー、耐久性向上でお客様に貢献

### ●プッシャー炉

▶ビーム連続加熱炉等



### ●ウォーキングビーム炉

▶シームレス管再加熱炉等



### ●ウォーキングハース炉

▶特殊鋼ビレット連続加熱炉等



### ●耐火物築造工事

▶耐火物築造、解体、メンテナンス作業



(混銑車)



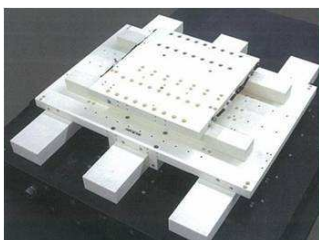
(コークス炉熱間積替)



## お客様の絶え間ない「高性能化」に貢献

### ●精密部品用セラミックス

▶ 半導体製造装置、測定機器、光学機器分野



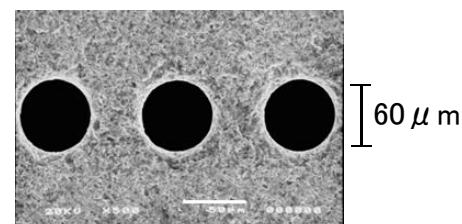
大型形状と精密加工やアッセンブリー技術の強みを活かした精密機械や半導体製造装置向けファインセラミックス。



ゼロ膨張セラミックスNEXCERA™の優れた寸法安定性、環境ロバスト性を活かし、原器や精密測定機器の更正器として適用開始。

### ●マシナブルセラミックス

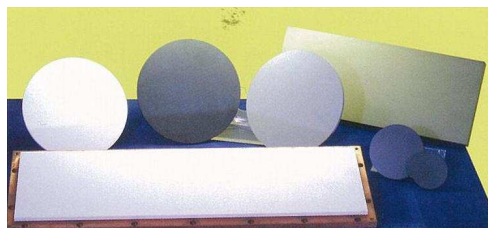
▶ 電子部品製造、産業機械、半導体製造分野



金属加工と同様に加工できる易加工性セラミックス。ミクロンオーダーの微細加工を実現。写真は、小径穴加工(直径60 μm)したマセライトHSPのプロープカード(ウエハーに形成されたICチップの検査治具)。

### ●スパッタリングターゲット材

▶ 電子部品、半導体デバイス分野



電子部品や半導体デバイスを熱や摩耗から守る薄膜を形成する高純度セラミックスのスパッタリングターゲット材。サーマルプリンターヘッド等に適用。

### ●電子部品焼成用部材

▶ 電子部品製造分野



主にセラミック電子部品の焼成工程に不可欠な部材。セラミックコンデンサ分野においては世界でシェアNo.1を誇る。

## 省エネルギー・環境分野で社会に貢献

### ●高機能断熱材

- 製鉄・非鉄、各種工業炉、航空機、自動車分野



断熱性能が静止空気より優れ、既存の断熱材より格段に優れる断熱特性を発揮して、省エネや薄肉化・小型化・軽量化による生産性向上に寄与。

### ●薄型面状ヒーター

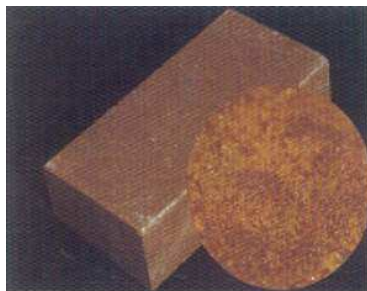
- 液晶・有機EL製造、半導体製造、高性能ヒーターユニット分野



薄い面状ヒーターで優れた均熱性、熱応答性が特長。さまざまな産業分野で生産性向上に寄与する。設計ニーズから対応できて、大小サイズのヒーターを提供できる。

### ●高機能蓄熱材

- 蓄熱暖房分野



抜群の蓄熱特性を有するセラミックス材料で蓄熱暖房機や床下暖房機等に適用される。夜間電力利用により電気エネルギーの有効活用に貢献。

### ●エコ建材

- 舗装・外壁れんが等建材分野



透水、保水等の環境機能を有し、風合いと意匠性を兼ね備えた建材。都市建材リサイクル材を原料に使用する技術をもって循環型都市形成に貢献。

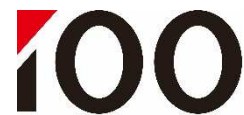


<https://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



100年の技術を未来へ